# 天理市が「SDGs 未来都市」と

# 「自治体SDGs モデル事業」に選定されました!

総合政策課(**☎**内線 465)

SDGs の達成に向けて、経済・ 社会・環境の3側面の統合的取組に よる相乗効果、新しい価値の創出を 通して、持続可能な開発に取組む自 治体として、内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されました。

今年度は、24 自治体が選定され 自見地方創生担当大臣から選定証が 授与されました。奈良県では、十津 川村、生駒市、三郷町、広陵町に次 いで5例目です。

また SDGs 未来都市の中から、





SDGs未来都市選定証 奈良県天理市 者市の提案は、我が国におけるSDGs (持続可能な開発目標)の達成に貢献する優 れたものと認められますので、SDG sの達 成に向けた今後の取組を奨励し、ここに貴市 がSDGs未来都市であることを証します 令和6年5月23日 内間的理大臣 奔田文成 delicative notation of the confer

地域における自律的好循環の形成が見込める、特に先導的な事業として「自治体 SDGs モデル事業」に 選ばれました。

私たちの身近な取組みが、 SDGsの実現につながっています 天理市が取組んでいる事業の一部

#### 官民連携による新しいリサイクル プログラム

テラサイクルジャパン合同会社と連携し て、市役所本庁舎や各学校に、一般的にリ サイクルされない商品(プラスチック製の

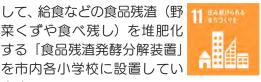
文房具、キッチンスポンジ) 12 3/4 1 の回収ボックスを設置し、廃 棄物が限りなく削減されたゼ ロ・ウェイスト社会の実現を 目指しています。



### 食品残渣削減プロジェクト (みんなの学校プロジェクト)

児童が環境問題について学ぶきっかけと して、給食などの食品残渣(野 菜くずや食べ残し)を堆肥化 する「食品残渣発酵分解装置」

ます。



### フードドライブによる食品ロス削減

一般家庭に余っている食材や防災備蓄食 料などを、子ども食堂や必要 り とする世帯に配布することで、 食品ロス削減や子どもの貧困 対策に貢献しています。



#### SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持 続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年 までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・ 169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」な どの優れた理念が示されています。行政だけではなく、多くの企業な どが広く採用しています。

## SUSTAINABLE G ALS





































**SDGs** 未来都市などの 詳細について





### 自治体 SDGs モデル事業提案内容



<事業名> 『自然との共生(オーガニックビレッジ)』『支え合い(well-being)』 『地域ブランドの創造』によるまちづくり

< **(概要)** 大学や企業などとの連携による人材育成、産業創出、活躍の場づくりを行います。また、 有機農業によるオーガニックな産品などに新たな付加価値を付け、地域ブランドの創 造を図ります。これらを「地域通貨イチカ」でつなげ、地域経済の活性化を目指します。



### 経済

域内循環によるコミュニティの活性化 well-being の向上

社会



域内循環による消費の拡大

- ・産官学連携の観光・農一体 による経済の活性化
- ・地域資源の活用

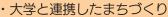








・市民共感型まちづくり (まちの豊かさの創造、well-being の向上)









環境保全活動を契機とした

コミュニティの活性化

多様な連携による

CO。排出量の削減





オーガニックビレッジの 取組みによる経済の活性化 里山発!環境共生による 地域ブランド力向上プロジェクト

経済循環による 有機農業の振興

### 環境

- ・有機農業によるオーガニックビレッジの実現
- ・カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの取組 みによるゼロ・ウェイスト社会の実現













### ●具体的な取組事例

「地域通貨イチカ活用による経済活性化、まちの豊かさの創造事業」



物価高騰の生活支援のための市民給付や出産・子育て応援ギフト、将来の健康維持活動の参加者へのポイント付与など、イチカを活用することで生活と地域経済を応援し、支え合いの促進を図っています。また、有志の加盟店がイチカによる収益の一部をこども食堂など地域の支援団体へ寄附を行うことで、日常の買い物や食事がまちの支援へとつながる「イチカプラス」という取組により、さらなる地域愛着とwell-being(支え合い)の向上を図ります。